

基本目標 8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

施策 33 文化財の保護・活用

現状・課題

- 文化財は、歴史や文化、先祖の暮らしなどを今に伝える貴重な遺産です。文化財の範囲は幅広く、種類や保存方法等も様々ですが、市民がその価値をしっかりと認識し、適切な方法で継承していくことが大切です。
- 本市では、豊かな歴史や伝統を背景に、様々な国、県、市指定の文化財を有しています。このほか、田縣神社、間々観音など特色のある寺社が立地しています。
- 本市では、小牧市文化財保護条例に基づき教育委員会に「小牧市文化財保護審議会」を設置し、小牧市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議を行っています。
- 文化財の保護や保存、伝承活動については、市内の文化財所有者等に対して必要な助成を行っています。

具体的な取組

取組	内容	担当課
埋蔵文化財の調査・記録保存	埋蔵文化財の貴重な情報を得るため、周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発がある場合は、適正な調査・記録保存を行います。	生涯学習課
文化財の指定・保護	文化財保護審議会において、文化財の調査を行い、保護を進めます。	生涯学習課
文化財の案内機能の充実	文化財のPRや活用を進めるため、文化財マップや現地に案内看板を設置するなど、周辺環境の整備を進めます。	生涯学習課



田縣神社豊年祭の御輿行列（お練り）



文化財パンフレット

施策 34 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用

現状・課題

○本市では、歴史・文化財等に関する市民向けの各種講座を開催することにより、市民の歴史に関する興味・関心を高める取組を進めています。

○古文書講座や歴史講座の受講者は高齢者が多く、また受講者が固定化されている傾向がみられます。市内の文化財に対する意識啓発を図るため、若い世代や中高生、小学生、親子を対象にした講座の開催についても検討する必要があります。

具体的な取組

取組	内容	担当課
古文書や古地図等の調査実施	大学など専門機関の技術やノウハウを活用し、古文書や古地図等に関する調査をします。	生涯学習課
古文書・歴史に関する講座等の開催	古文書や歴史に関する講座等を開催します。幅広い世代が興味を持てるよう、内容の充実に努めます。	生涯学習課



文化財巡り



古文書講座

施策 35 小牧山[※]の整備・活用

現状・課題

○小牧山[※]は中心市街地の西に位置する国指定史跡で、市民からはお花見やハイキングなどの憩いの場として親しまれています。また、戦国時代に織田信長が居城を築いたことや、小牧・長久手の合戦の主陣地となるなど、歴史的にも価値がある場所となっています。

○市では小牧山主郭地区等で発掘調査を行っており、調査の成果により、徐々に小牧山城の姿が明らかになっており、「近世城郭のルーツ」として、歴史的価値がさらに高まっています。発掘調査の結果は、「はっくつかわら版」の発行や、市ホームページ、SNS[※]、現地説明会等を通じ、積極的に市内外に発信しています。

○小牧山[※]を貴重な歴史遺産として調査・保護・活用・情報発信するとともに、より魅力ある場として整備していくことが必要です。

○本市では、平成 30 年度の完成を目指し、小牧山[※]の歴史や城郭、自然、発掘調査に関する情報等について学ぶことができる「(仮称) 史跡センター」の整備を進めています。

具体的な取組

取組	内容	担当課
主郭地区整備基本計画の推進	史跡小牧山主郭地区整備基本計画に基づき、石垣の一部復元などの整備を進めます。	小牧山課
資料の展示や体験・講座による啓発	歴史館や(仮称)史跡センターでの展示や文化財に関する体験や講座の開催により、市内外の来館者に対し、小牧山城の歴史的価値や魅力についての情報を広く発信します。	生涯学習課 小牧山課



小牧山主郭地区発掘調査



(仮称) 史跡センター (イメージ)

施策 36 地域資源を生かしたふるさと学習の推進

現状・課題

- こどもたちが身近な地域の歴史や文化、自然などにふれ、学ぶことは、小牧市に誇りや愛着を持つことにつながります。本市ではアンケート調査等の結果から、市民の継続居住意向が低く、その背景として市に対する愛着・誇りが低いという課題があることがわかりました。このため、市民が小牧市への愛着・誇りを高めることができるよう、“小牧山[※]”と“子育てしやすいまち”の2つを軸としたシティプロモーションを推進しています。
- 各学校では、それぞれ総合的な学習の時間等を活用し、地域と連携したふるさと学習を推進しています。また、市内の小中学校の社会科教諭を中心に構成された「小牧市文化財資料研究会」に企画・運営を委託し、こども向けの文化財啓発イベント等の事業を実施しています。
- 歴史等に関するイベントは、その参加者の多くが高齢者となっているため、若い世代にも興味・関心を持ってもらえるような、こども向けイベント等の企画・実施を進めていく必要があります。

具体的な取組

取組	内容	担当課
郷土教育・ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間等を活用し、地域の歴史や特徴等に関する学習を行います。また、地域人材を外部講師として招くなど、地域と密接につながった授業の展開を行います。さらに、地域の特色ある職業を体験し学ぶ職業人体験学習を実施します。	学校教育課
文化財啓発イベントの開催	小中学生を対象に、小牧の文化財を紹介するとともに、実際に見て回ったり、小牧の歴史や文化をテーマとした検定を行ったりする等、郷土への誇りや愛着を高めます。	生涯学習課



文化財愛護のつどい



こまき検定

施策 37 市民との協働による歴史・文化の継承活動の展開

現状・課題

- 地域の歴史・文化に根ざした祭りや民俗芸能などは、人々の手によって守り伝えられてきたものであり、次世代への継承にあたっては、伝承者の確保が欠かせません。しかし、全国的にも担い手の高齢化等によって、存続の危機や規模縮小を余儀なくされる例が見られます。
- 本市には、地域に支えられてきた山車や棒の手などの民俗文化財があります。このほか、木遣り、和太鼓などの民俗芸能を継承する団体も活動しています。しかし、本市においても全国の動向と同様に、会員の高齢化や会の解散などによる担い手の不足が課題となっています。
- 本市の歴史・文化の保護・継承活動にあたって、歴史館において歴史ガイドボランティア*が解説等の活動をしています。今後も、連携しながら郷土の歴史を市民に伝える活動を進めていく必要があります。

具体的な取組

取組	内容	担当課
地域の伝統文化・伝統芸能の継承・保存	伝統文化・伝統芸能の担い手の増加に向けて、パンフレットや書籍などで地域の伝統を PR していきます。また、指定文化財の保存・継承・公開事業を支援します。	生涯学習課
歴史ガイドボランティア*と連携した展示品・文化財の解説	歴史館や（仮称）史跡センター、各種イベントなどにおいて、歴史ガイドボランティア*による文化財や展示品等の解説を行います。	生涯学習課 小牧山課



秋葉祭の山車